

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | まっくびーカレッジ名楽町校 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 1月 1日 | | 2025年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 24名 | (回答者数) 24名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 2月 20日 | | 2025年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 6名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 20日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 様々なジャンルの療育プログラムを取り入れ、様々な角度からお子様の支援に繋がられるように、プログラムも常に固定化されないように職員間で話し合い等を行い、工夫している。 | 4つの基本活動を軸にプログラムを行っている。 年齢層の高い利用者様の割合が多いので極力土曜日や長期休暇は外に出て社会と関わる機会を作るようにしている。 また様々な経験を通して大人になった場合に自分の力でできるできるように支援を進めています。 | 今後も職員間の話し合いや様々な所からアイデアを取り入れ、常に内容が固定化されることなくプログラムをスムーズに進行できるようにしていきたいです。 |
| 2 | お出かけプログラムで地域と連携・コミュニケーションを図っている。 | お出かけプログラムは人気があり、様々な経験が出来る為、今後も意識的に行っていきたい。 | お出かけ先のレパトリーを増やしていきたい。 |
| 3 | A型就労継続支援施設やB型就労継続支援施設やグループホーム、児童発達支援がある為、総合的に支援をすることができます。 | 高校卒業のタイミングで将来的な相談や進路についてサポートする体制が整っている。 | 今後はより綿密に入会の際などのタイミングを利用して保護者様に説明をして利用計画の際に提案させていただきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 施設のバリアフリー化がされていない。 | 段差が多くあり、トイレも狭い為、車椅子が必須の利用者には対応できない。 | リフォームを考えていきたい。 |
| 2 | 保護者や第三者等の会を行えていない。 | 希望をしない保護者もいる。また、時間や場所の都合が合わない。 | アンケートを実施し、保護者の意見を参考にさせていただき開催をしていきたい。 |